



教えてネ 地域のお話

秋も一致団結 町内一斉清掃

自 分の住む地域がきれいだと気持ちいいですね。地域をきれいに保つため、各町内では定期的に一斉清掃が行われていきます。今回は、手形の城東町内会が行った活動の様子を紹介します。

この日の参加者は約70人。側溝などの泥上げ、道路・水路脇の除草、ごみ集積所周辺の清掃などを行い、約1時間の活動でしたが、町内は見違えるほどにピカピカに！参加者からは「あーきれいになった。さっぱりした」と言ううれしい声も。住みやすい地域を維持していくためにも、みんな力を合わせることがやっぱり大切です。



9月30日に行われた清掃活動の様子。お疲れ様でした！

素材の良さ引き立つ やっぱり地元産！

秋

晴れ広がる10月28日、豊岩にある「水耕菜園 久左エ門」で、市の「農家のパーティー」プロジェクトの一環として「ファームパーティー」を開催しました。

参加者は、朝露まだ残る近くの畑でキャベツや大根の収穫などを体験した後、早速、お待ちかねの市内産農産物を使った「BBQ」の準備にとりかかりました。

みんなで調理したメニューは、採りたて野菜のサラダから、メインの魚や肉料理、それにデザートまで全11品。どれを食べても、普段より素材の良さがおいしく味わえた様子で、テーブルを囲んだみなさんに笑顔が広がっていました。やっぱり地元産は最高！



宝くじ助成金で コミュニティ活動 の設備を整備



宝くじの社会貢献広報事業の一環で、その収入を財源とするコミュニティ助成事業を活用し、次の地区のコミュニティセンター管理運営委員会が備品を整備しました。これらは、地域コミュニティ活動の充実に役立てられています。

① 茨島地区コミュニティセンター

に設置▼ポータブルステージ、ステージ用スカーフト、ステツプ



問▼中央市民サービスセンター

☎(8888)5643

② 上北手地区コミュニティセンター

に設置▼デジタル印刷機、炊飯器、オーブンレンジ

問▼南部市民サービスセンター

☎(8388)1212



ともに描く 秋田の未来

第4回

市と市民活動団体との協働を推進する「秋田市協働サポート交付金事業」の対象5団体をシリーズで紹介。

問▼中央市民SC ☎(8888)5642

子どもの安全基地 あきた子どもネット

秋田駅周辺で週3回、中学3年生を対象に、放課後の第3の居場所となるサロンスペースを開設しています。

子どもたちは、

自由におしゃべりしたり、自習を行ったりしているほか、スタッフの大学生などが勉強をサポートします。また、フードバンク事業などと連携し、子どもたちに食事の提供も行っています。

スタッフの後藤さんのお話

子どもの健全育成と教育格差の改善、孤立化の予防が目的です。現在、参加者の募集は行っていませんが、今後対象を広げていけたらと思っています。



*文中のSCは市民サービスセンターの略です。

広報クイズ No.303



広報クイズは、毎月第3金曜日発行号に掲載しています。正解したかたの中から抽選で10人に図書カード1,000円分を差し上げます。

広報あきたや市政テレビ番組の感想などを添えて、ご応募ください。

Q1 ミュージカル「●●●太郎伝説」が公演中！ ●に入る名字は？

Q2 スポーツを通して交流！合意書を締結したのは何共和国？

* 答えは広報あきた11月3日号・17日号の記事中から探してね♪

応募方法(抽選は1人1件です)

はがき、FAX、Eメールに、「広報クイズ」と明記し、答えと住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書いて、11月27日(月)(必着)まで、〒010-8560 秋田市役所広報広聴課 FAX(888)5472

Eメール ro-plpb@city.akita.akita.jp

* 採用された際、氏名の掲載を希望しないかたは、ペンネームも忘れずにお書き添えください。

10月20日号の当選者(敬称略)

前回のクイズの答え

Q1 = 「如斯」亭庭園 Q2 = 3「R」

当選者▶ 加賀谷修司(手形)、河辺のウッチー(河辺)、高田容子(新屋)、とこさん(土崎港)、中嶋清実(外旭川)、長谷川文字(濁川)、花田 宏(新藤田)、マサムネ(保戸野)、豆大福(新屋町)、山上元徳(河辺)

* 応募総数198件のうち、正解は195件。

担当から



4頁に掲載した地域保健推進員と技能功労者からコメントをいただきました。これまで活動・仕事を続けられた理由を聞くと、「参加者の笑顔があるから」「お客様の笑顔を見られるとうれしいから」と、偶然にも原動力はどちらも「笑顔」との答えに思わず納得。そのお二人の笑顔も素敵でした。これからも笑顔あふれる瞬間がたくさん生まれるといいですね(保坂)

ちょっと一息 読者の伝言板



●(広報あきた10月20日号の)ごみ減量特集の言葉に一瞬ドキッとしました。生ごみを出すための手順があると知り反省しきりです。以後、水切り、食べきりがんばります
(のりたん 70歳・雄和)

●秋になり、新米の季節になりましたね。今年は天候が悪く、お米の育ちが心配でしたが、無事においしいお米を食べられて、普通のありがたさを感じて、普通を感じているこの頃です
(居眠りパンダ 30歳・将軍野)

●今年父が亡くなりました。子どもの頃、八橋運動公園で50円のホットドッグを買ってもらったり、冬はそりで遊んだ事をふと思い出しました。形見の時計を大切にします。お父さん、ありがとう
(ピ)太郎 48歳・泉)

●早速今日から試してみたいです(ロン 43歳・将軍野)

●読書の秋にとっぴり漬かって擬似体験を楽しんでいます。秋の夜長はいいなあー
(せつちゃん 44歳・寺内)

「秋田市民便利帳2017・2018年度版」を、9月に各ご家庭に配布しました。まだ届いていない世帯のかたは広報広聴課へご連絡ください。☎(888)5471



◆問い合わせは各課所室へ

同便利帳30頁中段に掲載した「中央市民サービスセンター」の電話番号は、市の窓口案内の番号ではありません。各事業・サービスの内容ごとに、直接、各課所室へお電話いただくようお願いします(便利帳33~35頁参照)。